

令和6年度第2回湯沢町総合戦略推進会議 要旨	
日時	令和6年12月9日（月）13:30～16:15
場所	湯沢町役場3階 大会議室
次第	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次期総合戦略（案）の諮問</li> <li>・議題             <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 町民アンケートの実施結果、人口ビジョン等について</li> <li>2. 次期総合戦略（案）についての審議</li> </ol> </li> <li>・その他</li> </ul>
出席者	氏名（所属・役職）
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鷲見 英司 委員（日本大学経済学部教授）</li> <li>・綿貫 靖夫 委員（湯沢町商工会会長）</li> <li>・岡 淳朗 委員（一般社団法人湯沢町観光まちづくり機構代表理事）</li> <li>・中島 宏明 委員（東日本旅客鉄道株式会社越後湯沢駅駅長）</li> <li>・高橋 政弘 委員（社会福祉法人湯沢町社会福祉協議会会長）</li> <li>・星名 秋彦 委員（新潟県南魚沼地域振興局局長）</li> <li>・竹樋 渉 委員（第四北越銀行 湯沢支店支店長）</li> <li>・桑原 優 委員（新潟県信用組合 湯沢支店 支店長）</li> <li>・南雲 有華 委員（町民）</li> <li>・角谷 真一郎 委員（町民）</li> <li>・上村 貴子 委員（町民）</li> </ul>
	<p>（欠席）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・剣持 崇紀 委員（町民）</li> </ul>

内容	
・次期総合戦略（案）の諮問	
町長から鷺見委員長へ諮問書を受け渡した。	
議題１．町民アンケートの実施結果、人口ビジョン等について	
（議題から委員長が進行）	
鷺見委員長	現行計画の推進状況と評価について事務局から説明をお願いします。
以下の資料に基づき事務局から説明	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料１、湯沢町総合戦略策定に向けての町民意識調査（16-18 歳調査/19-39 歳調査）</li> <li>・資料２、資料２－１、資料２－２    ・資料３－１、３－２、３－３</li> <li>・湯沢町第３期人口ビジョン</li> </ul>	
鷺見委員長	委員の皆様から意見ありますか。
角谷委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会動態が県内で唯一８年連続で増ということに関して、現行計画の評価としてももう少し強調してもいいかと思う。</li> <li>・若者が結婚や出生に踏み切らない要因が何かと言うことに関して、オールユースの方でもアンケートをとっているので、今後の会議で結果を共有させていただきたいと思っている。</li> </ul>
岡委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口ビジョンで示している将来人口について、専門家として鷺見委員長は、実現可能だと思うか正直な意見を教えてほしい。</li> </ul>
鷺見委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口ビジョンの巻末に、もし将来目標に据えている人口を達成できなかったらどのような影響があるかということを補論としてまとめておきたいと考えています。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値であるので、町としてもある程度高めな設定にしているところです。</li> </ul>
角谷委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・転入した若者がどれくらい定住しているかのデータを町はもっていますか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和２年度から民間事業者へ委託して実施している、移住相談窓口を通じた転入者については比較的定住率が高い傾向にあると認識しています。</li> </ul>
綿貫副委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若い人以外で高齢者についても転入者が多くいると感じている。高齢化といった問題点についても考えて施策を進めていく必要があると感じている。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移住に関する各種補助金についてはターゲットを若い世代に絞って施策を進めています。</li> </ul>
綿貫副委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値や KPI の設定や集計方法について、時代とともに変化させた方がいいと感じる。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・後ほどの説明になりますが、次期戦略案においては見直しを図っているところです。</li> </ul>

綿貫副委員長	・町づくり施策の中で、流入人口の年齢と併せて財政面（町税収入や福祉的給付など）も含めてどうかという分析データも必要かと感じている。
事務局	・ご意見を参考にデータを取ることを検討していきたいと思います。
議題 2. 次期総合戦略（案）についての審議	
鷺見委員長	次に、議題 2. 次期総合戦略（案）について事務局から説明をお願いします。
以下の資料に基づき事務局から説明 ・資料 4 湯沢町総合戦略策定スケジュール ・湯沢町デジタル田園都市構想総合戦略（案） ※今回（第 2 回）では基本目標 1、2 までを説明して審議	
鷺見委員長	まず、湯沢町デジタル田園都市構想総合戦略（案）基本目標 1 までのところでご質問のある方はいらっしゃいますか。
鷺見委員長	・確認ですが、目標値や KPI の期間が令和 11 年度までなどとされていますが、計画最終年度の令和 12 年度に評価を行う際に、実績値が確定している直近の年度までに設定しているということでしょうか。
事務局	・その通りです。
竹樋委員	・特定地域づくり事業協同組合について、人を派遣する事業になるのでしょうか。その組織の設置を町が主体で行うということでしょうか。
事務局	・設置主体は民間になります。町としては、組織された組合の運営対して財政支援をしていくということになります。
綿貫副委員長	・派遣される人は組合での雇用ということになるのでしょうか。
事務局	・そのとおりです。季節的な雇用の変動にも対応できるようになると考えています。国の支援も手厚いところです。 ・しかしながら、制度を活用する条件の「人口急減地域」に湯沢町が該当しない可能性があります。この点は、県を通じて国に確認をしているところでもあります。
上村委員	・外国人労働者の受入れについて、町内の施設でも過去に事例がありましたが、就労の他に、交通や買い物、雪対策など生活面での課題から短期間で他の地域へ移ってしまったというケースがありました。外国人労働者の受入れにあたっては、生活面での支援ということも重要だと感じています。 ・働き方改革の施策については企業が関わってくるといいますので、どのように実施していくかということも課題かと思っています。
事務局	・外国人労働者の受入れを進めるにあたって重要な視点だと思います。受け入れ事業者にもそういった課題感があるということを共有しながら事業を進めていくこととしたいと考えます。 ・働き方改革の推進については、おっしゃる通りだと思います。働き改革の施策について実施主体に事業者という記載を加えたいと思います。

綿貫 副委員長	・ 宿泊施設での受け入れの場合は、宿泊施設内に滞在する部屋などを用意していたりするので、通勤には負担が無いという事例もあります。
中島委員	・ 外国人労働者の受入れに関して、南魚沼市のある企業では、バスを手配して、アパートまで送迎していたりもするようです。
綿貫 副委員長	・ 湯沢の場合、就労者が居住するアパートの空きがない状況がある。
綿貫 副委員長	・ 湯沢の場合、年間を通して町外から就労に来ている方が多いと聞いているがどうですか。
事務局	・ 町内で就労している約 4,900 人の内、約 1,700 人が町外からの就労者というデータがあります。
星名委員	・ 働き方改革の推進について、KPI が「仕事にやりがいを持って働くことができると感じている人の割合」となっているが、施策の成果を判断する指標としてはマッチしていないと感じます。
事務局	・ 適正な評価ができる指標もしくは施策名への修正を検討したいと思います。
竹樋委員	・ 企業誘致の推進についても、KPI をみると企業誘致件数であって、IT 企業の進出だけを推進するわけではないと思うので、概要の書き方を修正した方が良いのではないかと思います。
事務局	・ おっしゃる通りですので修正を検討したいと思います。
鷲見委員長	では次に、基本目標 2 に関してご質問のある方はいらっしゃいますか。
鷲見委員長	・ アンケート結果でも、移住者だけでなく町民への支援もという意見があったので、住宅取得支援などの対象者拡充は良いことかと思います。
上村委員	・ 有資格移住・就労者への支援について具体的な条件などがあれば教えてもらえますか。
事務局	・ 具体的な制度設計は、この総合戦略が完成した後に新年度から進めて、順次予算化をしていきたいと考えているので、現時点では、お答えできる条件などは未定であります。
上村委員	・ 三条市で実施している事業がよい制度だと思ったので、参考にしてみてください。 ・ 湯沢だと働く場所も限られてしまうので、就労した後のミスマッチなどが発生した時の対策や防止策なども検討してほしいと思います。
事務局	・ 他自治体の例も参考にしてみたいと思います。 ・ ミスマッチを防ぐため、移住相談窓口での聞き取りなど連携を図っていく対策も検討したいと思います。
鷲見委員長	・ 定住自立圏としても取組むというのはどういう意図でしょうか。
事務局	・ 事業者によっては、営業所が湯沢と南魚沼市、魚沼市にまたがるという企業もあるので、勤務する企業は同じなのに住んでいる自治体によって支援の条件や内容が異なるといったことにならないように連携していきたいということです。

中島委員	・子育て世帯等リフォーム支援において KPI が 5 年で 15 人となっていますが、年間 5 人だと、25 人の誤りだと思います。
事務局	・ご指摘のとおりです。修正をしたいと思います。
星名委員	・新幹線通勤補助について、移住を促進すると概要に記載していますが、町から転出を抑制するという意図もあると思うので、移住だけでなく定住という要素も、概要に書き加えた表現にした方が良いと思います。
事務局	・そのように修正を検討したいと思います。
鷺見委員長	以上で議題のすべてが終わりましたので進行を事務局に戻します。
その他	
事務局	<p>第 3 回の会議を 12 月 26 日（木）に開催いたしますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>その他は、事務局では用意してありませんが、皆様から何かありますでしょうか。無いようであれば、本日の会議は以上で終了とさせていただきます。</p>